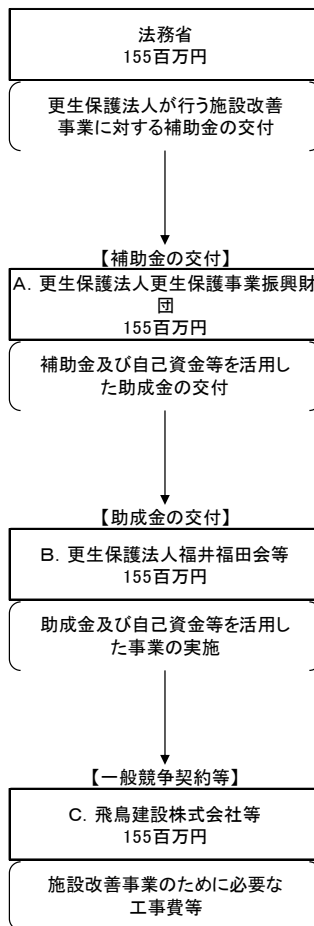


平成27年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	更生保護施設整備事業への補助			担当部局	保護局		作成責任者	
事業開始年度	平成6年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	更生保護振興課		更生保護振興課長 齋場 昌宏	
会計区分	一般会計			政策・施策名	更生保護活動の適切な実施 Ⅱ-6-(1)保護観察対象者等の改善更生			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	更生保護事業法(平成7年法律第86号)第58条ほか			関係する計画、 通知等	「世界一安全な日本」創造戦略」等			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3程度以 内)	更生保護法人が設置・運営する更生保護施設について、老朽化等により、将来的に機能不全となる恐れの高い建物の改築・補修等を行い、更生保護施設の機能を維持することを目的とする。							
事業概要 (5程度以内。 別添可)	更生保護法人が設置する更生保護施設(全国に約100施設)について、施設の老朽化等を背景とする建物・設備の改築・補修等の実施に当たり、国が当該施設整備事業費の3分の2(平成25年度までは2分の1)を交付限度として補助するもの。 なお、更生保護施設の施設整備を計画的に推進するため、平成6年度に「第一次更生保護施設整備5か年計画」を策定して以降、平成11年度、平成16年度、平成21年度、平成26年度と当該5か年計画を更新している。							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	当初予算	227	193	223	324	404		
	補正予算	0	0	0	0			
	前年度から繰越し	100	0	0	68	-		
	翌年度へ繰越し	0	0	▲68	0			
	予備費等	0	0	0	0			
	計	327	193	155	392	404		
執行額	327	186	155					
執行率(%)	100%	96%	100%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度
	平成30年度まで、集団処遇室の設置件数とバリアフリー対応の件数の合計を、過去の実績を踏まえ、毎年3件以上にする	成果実績	件数	4	2	3		
		目標値	件数	-	-	3	3	
		達成度	%	-	-	100%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	補助対象更生保護施設の改築・補修等の実施件数	活動実績	施設数	6	4	3		
		当初見込み	施設数	5	4	3	4	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/助成対象施設数	単位当たり コスト	千円	54,500	46,500	51,667	98,000	
		計算式	執行額/ 施設数	327百万円/6施設	186百万円/4施設	155百万円/3施設	392百万円/4施設	
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	更生保護事業費補助金	324	404	補助対象施設の変更に伴う増等				
	計	324	404	「新しい日本のための優先課題推進枠」404				

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	犯罪者処遇施設としての役割を十分に果たせるよう、国が施設の整備を補助する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同上	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		-		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	間接事業者において、競争入札を実施することにより競争性の確保やコスト削減に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	同上	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	資金の流れの中間段階での支出は、直接補助事業者から間接補助事業者に対する補助金の交付に限定されており、合理的である。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途については、本事業の目的に即したものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	当初見込みに見合った活動実績となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	同上	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された施設は十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	事業実施対象、事業実施内容、事業実施計画、補助金の交付基準、資金の流れ等について点検を行ったところ、適切に実施されており、現時点において特に見直す必要は認められない。			
	改善の方向性	今後も継続して点検を行い、必要に応じて見直しを図ることとする。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外である。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0048	平成23年度	0044	平成24年度	0048
平成25年度	0034	平成26年度	0027		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

(注) 端数処理の関係から、一部整合しない場合がある。また、他頁の表とも、端数処理の関係から一部整合しない場合がある。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.更生保護法人更生保護事業振興財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	更生保護施設整備事業費	155			
計		155	計		0
B.更生保護法人福井福田会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	更生保護施設整備事業費	141			
計		141	計		0
C.飛鳥建設株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	施設改善事業の工事費	141			
計		141	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	更生保護法人更生保護事業 振興財団	補助金交付	155	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	更生保護法人福井福田会	助成金交付	141	-	-
2	更生保護法人善隣厚生会	助成金交付	9	-	-
3	更生保護法人佐世保白雲	助成金交付	5	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	飛鳥建設株式会社	施設改善事業の工事費	141	10	90.9%
2	株式会社辰	施設改善事業の工事費	9	2	99.6%
3	株式会社太陽エンジニアリン グ	施設改善事業の工事費	5	3	99.3%
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			<input type="checkbox"/> チェック		